

調査結果の概要

1 学校調査

(1) 小学校

ア 学校数

学校数は462校(本校449校、分校13校)で、前年と同じでした。(表1)

表1 小学校の設置者別学校数

	総 数			国 立	公 立			私 立
	計	本 校	分 校	本 校	計	本 校	分 校	本 校
昭和60	464	447	17	1	462	445	17	1
平成 2	461	447	14	1	459	445	14	1
3	463	449	14	1	461	447	14	1
4	465	451	14	1	463	449	14	1
5	462	449	13	1	460	447	13	1
6	462	449	13	1	460	447	13	1
7	462	449	13	1	460	447	13	1
8	462	449	13	1	460	447	13	1
対前年比較	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 学級数、児童数

学級数は4,826学級で、前年に比べ60学級減少した。その内訳をみると、75条の学級が22学級増加したのに対して、単式学級が79学級、複式学級が3学級減少した。なお、単式学級が全学級数に占める割合は90.4%で、前年に比べて0.5ポイント減少した。

児童数は124,890人(男64,166人、女60,724人)で、前年に比べ3,579人減少した。1学級当たりの児童数を学級編制方式別にみると、単式学級28.3人、複式学級8.5人、75条の学級1.8人となっており、前年と比べると単式及び複式学級で低下している。

(表2)

表2 小学校の学級編制方式別学級数、児童数

単位(児童数:人)

	総 数			単 式 学 級			複 式 学 級			7 5 条 の 学 級		
	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数
昭和60	5,253	160,038	30.5	4,916	158,228	32.2	82	892	10.9	255	918	3.6
平成 2	4,988	136,719	27.4	4,598	134,997	29.4	100	1,076	10.8	290	646	2.2
3	4,969	134,829	27.1	4,582	133,198	29.1	96	1,022	10.6	291	609	2.1
4	4,955	133,264	26.9	4,553	131,620	28.9	99	1,044	10.5	303	600	2.0
5	4,928	131,631	26.7	4,522	130,143	28.8	90	885	9.8	316	603	1.9
6	4,906	130,427	26.6	4,494	129,006	28.7	88	817	9.3	324	604	1.9
7	4,886	128,469	26.3	4,440	126,866	28.6	102	978	9.6	344	625	1.8
8	4,826	124,890	25.9	4,361	123,380	28.3	99	841	8.5	366	669	1.8
対前年比較	-60	-3,579	-0.4	-79	-3,486	-0.3	-3	-137	-1.1	22	44	0

平成7年度間に30日以上欠席した児童数は737人で、前年度より44人増加した。そのうち、50日以上欠席した児童数は340人で、前年度より10人減少した。(表3)

表3 小学校の理由別長期欠席者数

単位(児童数:人)

	30日以上欠席者					うち50日以上欠席者				
	計	病 気	経済的理由	学校ざらい	その他	計	病 気	経済的理由	学校ざらい	その他
平成 3	525	378	1	82	64	240	140	0	61	39
4	632	456	5	90	81	285	162	4	70	49
5	608	413	3	113	79	298	166	3	83	46
6	693	485	1	99	108	350	197	1	82	70
7	737	495	2	115	125	340	175	0	82	83
対前年比較	44	10	1	16	17	-10	-22	-1	0	13

ウ 教員数

本務教員数は7,454人(男2,797人、女4,657人)で、前年に比べ45人(0.6%)減少した。

本務教員数の男女の比率は、男子37.5%、女子62.5%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの児童数は、16.8人となり前年に引き続き減少している。(43)

表4 小学校の本務教員数

単位(教員数・児童数:人、割合:%)

	総 数	男	女	女子教員の 占める割合	教員1人当 たりの児童数
昭和60	7,464	3,353	4,111	55.1	21.4
平成 2	7,379	3,088	4,291	58.2	18.5
3	7,404	3,020	4,384	59.2	18.2
4	7,455	2,971	4,484	60.1	17.9
5	7,460	2,920	4,540	60.9	17.6
6	7,511	2,908	4,603	61.3	17.4
7	7,499	2,866	4,633	61.8	17.1
8	7,454	2,797	4,657	62.5	16.8
対前年比較	-45	-69	24	0.7	-0.3

(2) 中学校

ア 学校数

学校数は190校(本校187校、分校3校)で、前年と同じでした。(表5)

表5 中学校の設置者別学校数

	総 数			国 立	公 立			私 立
	計	本 校	分 校	本 校	計	本 校	分 校	本 校
昭和60	190	186	4	1	180	176	4	9
平成 2	190	187	3	1	179	176	3	10
3	190	187	3	1	179	176	3	10
4	191	188	3	1	180	177	3	10
5	191	188	3	1	180	177	3	10
6	190	187	3	1	179	176	3	10
7	190	187	3	1	179	176	3	10
8	190	187	3	1	179	176	3	10
対前年比較	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 学級数、生徒数

学級数は2,119学級で、前年に比べ3学級増加した。学級編制方式別にみると、75条の学級が5学級増加したのに対し、単式学級は2学級減少している。また、75条の学級の全学級数に占める割合は7.5%で、前年に比べ0.3ポイント増加している。

生徒数は67,897人(男34,627人、女33,270人)で、前年に比べ29人(0.04%)増加した。また、1学級当たりの生徒数は単式学級34.5人、75条の学級2.0人であった。(表6)

表 6 中学校の学級編制方式別学級数、生徒数

単位(生徒数:人)

	総 数			単 式 学 級			7 5 条 の 学 級		
	学級数	生徒数	1学級当たり の生徒数	学級数	生徒数	1学級当たり の生徒数	学級数	生徒数	1学級当たり の生徒数
昭和60	2,333	86,685	37.2	2,216	86,183	38.9	117	502	4.3
平成 2	2,335	78,717	33.7	2,225	78,397	35.2	110	320	2.9
3	2,296	76,333	33.2	2,180	75,991	34.9	116	342	2.9
4	2,236	74,039	33.1	2,112	73,716	34.9	124	323	2.6
5	2,183	71,463	32.7	2,050	71,149	34.7	133	314	2.4
6	2,130	68,719	32.3	1,988	68,401	34.4	142	318	2.2
7	2,116	67,868	32.1	1,963	67,543	34.4	153	325	2.1
8	2,119	67,897	32.0	1,961	67,577	34.5	158	320	2.0
対前年比較	3	29	-0.1	-2	34	0.1	5	-5	-0.1

平成7年度間に30日以上欠席した生徒数は1,265人で、前年度より62人増加した。そのうち、50日以上欠席した生徒数は842人で、前年度より59人増加した。(表7)

表 7 中学校の理由別長期欠席者数

単位(生徒数:人)

	30日以上欠席者					うち50日以上欠席者				
	計	病 気	経済的理由	学校ぎり	その他	計	病 気	経済的理由	学校ぎり	その他
平成 3	901	403	8	368	122	603	210	4	296	93
4	1,043	445	3	426	169	661	241	1	315	104
5	1,075	429	10	445	191	711	230	8	357	116
6	1,203	483	21	489	210	783	250	17	396	120
7	1,265	480	13	493	279	842	245	8	415	174
対前年比較	62	-3	-8	4	69	59	-5	-9	19	54

ウ 教員数

本務教員数は4,446人(男2,554人、女1,892人)で、前年に比べ56人増加した。

本務教員数の男女の比率は、男子57.4%、女子42.6%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当りの生徒数は15.3人で、前年に引き続き減少している。(表8)

表 8 中学校の本務教員数 単位(教員数・生徒数:人、割合:%)

	総 数	男	女	女子の 教員割合	教員1人 当りの 生徒数
昭和60	4,388	2,757	1,631	37.2	19.8
平成 2	4,524	2,720	1,804	39.9	17.4
3	4,527	2,685	1,842	40.7	16.9
4	4,452	2,621	1,831	41.1	16.6
5	4,432	2,600	1,832	41.3	16.1
6	4,388	2,568	1,820	41.5	15.7
7	4,390	2,542	1,848	42.1	15.5
8	4,446	2,554	1,892	42.6	15.3
対前年比較	56	12	44	0.5	-0.2

(3) 高等学校(通商を除く)

ア 学校数

学校数は80校で前年と同じでした。

課程別にみると、全日制63校(公立51校、私立12校)、定時制4校(公立3校、私立1校)、併置校13校(公立11校、私立2校)となっている。(表9)

表 9 高等学校の設置者別学校数

	総数	公立						私立				
		計	本校			分校			計	本校		
			全日制	定時制	併置	全日制	定時制	併置		全日制	定時制	併置
昭和60	78	63	47	4	10	2	—	15	12	1	2	
平成 2	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
3	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
4	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
5	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
6	80	65	50	3	11	1	—	15	12	1	2	
7	80	65	50	3	11	1	—	15	12	1	2	
8	80	65	50	3	11	1	—	15	12	1	2	
対前年比較	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	

イ 生徒数

生徒数は66,310人(男33,717人、女32,593人)で、前年に比べ2,312人(3.4%)減少した。設置者別では、公立が52,384人で79.0%(7年78.8%)を占め、私立は13,926人で21.0%(7年21.2%)となっている。

課程別では、全日制が65,137人で98.2%(7年98.3%)を占め、定時制は1,173人で1.8%(7年1.7%)となっている。(表10)

表 1 0 高等学校の生徒数

単位:人

	総数			本 科								専攻科	別科
	計	全日制	定時制	計	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他		
昭和60	73,206	71,368	1,838	73,113	50,497	2,283	6,999	7,940	411	3,958	1,025	80	13
平成 2	78,937	77,291	1,646	78,832	55,213	2,414	7,158	7,651	415	3,715	2,266	105	—
3	77,422	75,981	1,441	77,317	54,414	2,328	7,082	7,359	387	3,485	2,262	105	—
4	74,445	73,111	1,334	74,340	52,416	2,231	6,924	7,102	360	3,062	2,245	105	—
5	72,231	70,967	1,264	72,119	51,162	2,185	6,790	6,883	326	2,580	2,193	112	—
6	70,435	69,262	1,173	70,345	49,997	2,191	6,689	6,517	318	2,237	2,396	90	—
7	68,622	67,483	1,139	68,535	48,524	2,137	6,616	6,167	348	1,884	2,859	87	—
8	66,310	65,137	1,173	66,221	46,811	2,113	6,403	5,630	344	1,752	3,168	89	—
公立	52,384	51,240	1,144	52,295	33,515	2,054	6,403	5,630	344	1,752	2,597	89	—
私立	13,926	13,897	29	13,926	13,296	59	—	—	—	—	571	—	—
対前年比較	-2,312	-2,346	34	-2,314	-1,713	-24	-213	-537	-4	-132	309	2	—

表 1 1 高等学校の本務教員数

ウ 教員数

単位 (教員数・教員1人当たりの生徒数:人、割合:%)

本務教員数は4,282人(男3,202人、女1,080人)で、前年に比べ51人(1.2%)減少した。
 設置者別では、公立が3,544人(男2,662人、女882人)で82.8%(7年82.9%)を占め、私立が738人(男540人、女198人)で17.2%(7年17.1%)となっている。
 また、本務教員1人当たりの生徒数をみると、総数では15.5人(7年15.8人)、公立は14.8人(7年15.0人)、私立は18.9人(7年19.7人)となっている。(表11)

	総数	男	女	女子教員の占める割合	教員1人当たりの生徒数
昭和60	4,004	3,207	797	19.9	18.3
平成 2	4,411	3,476	935	21.2	17.9
3	4,383	3,457	926	21.1	17.7
4	4,361	3,412	949	21.8	17.1
5	4,376	3,380	996	22.8	16.5
6	4,381	3,342	1,039	23.7	16.1
7	4,333	3,270	1,063	24.5	15.8
8	4,282	3,202	1,080	25.2	15.5
公立	3,544	2,662	882	24.9	14.8
私立	738	540	198	26.8	18.9
対前年比較	-51	-68	17	0.7	-0.3

(4) 盲学校、聾学校、養護学校

学校数は、盲学校1校(公立)、聾学校1校(公立)、養護学校16校(国立1校、公立14校、私立1校)で、前年と同じである。
 在学者数は、盲学校34人、聾学校75人、養護学校932で、前年に比べ盲学校と聾学校は同数であるが、養護学校は51人増加した。
 また、本務教員数は、盲学校41人(公立)、聾学校54人(公立)、養護学校666人(国立27人、公立622人、私立17人)であった。(表12)

表 1 2 盲学校、聾学校、養護学校の学校数、在学者数、本務教員数

単位 (在学者数・教員数:人)

	盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数
昭和60	1	81	39	1	112	49	9	949	339
平成 2	1	69	40	1	80	51	11	951	442
3	1	51	40	1	92	58	15	934	521
4	1	44	43	1	87	61	15	890	562
5	1	44	41	1	85	60	16	867	596
6	1	40	42	1	76	64	16	875	643
7	1	34	38	1	75	59	16	881	645
8	1	34	41	1	75	54	16	932	666
対前年比較	0	0	3	0	0	-5	0	51	21

(5) 幼稚園

ア 幼稚園数

幼稚園数は281園で、前年と同じでした。

設置者別にみると、国立1園(0.4%)、公立215園(76.5%)、私立65園(23.1%)となっている。私立をさらに設置者別にみると、学校法人58園(89.2%)、宗教法人7園(10.8%)で前年と同じである。(表13)

イ 園児数

園児数は23,946人で、前年に比べ191人(0.8%)減少した。設置者別では、国立が148人で0.6%、公立は11,219人で46.9%、私立は12,579人で52.5%となっている。(表13)

ウ 教員数

本務教員数は1,553人(男56人、女1,497人)で、前年に比べ13人減少した。本務教員1人当たりの園児数は15.4人で前年と同じである。また、本務教員のうち、女子の占める割合は96.4%であった。(表13)

表 1 3 幼稚園の園数、学級数、園児数、本務教員数

単位 (園児数・教員数:人)

	園 数			学 級 数	園 児 数			本 務 教 員 数
	総 数	国・公立	私 立		総 数	男	女	
昭和60	270	211	59	945	25,524	12,958	12,566	1,373
平成 2	274	212	62	1,005	26,174	13,263	12,911	1,469
3	273	211	62	1,027	25,685	13,060	12,625	1,470
4	274	211	63	1,022	25,617	13,129	12,488	1,484
5	277	213	64	1,017	25,053	12,797	12,256	1,512
6	279	215	64	1,027	24,656	12,668	11,988	1,555
7	281	216	65	1,032	24,137	12,349	11,788	1,566
8	281	216	65	1,014	23,946	12,214	11,732	1,553
対前年比較	0	0	0	-18	-191	-135	-56	-13

工 就 園 率

平成8年3月の幼稚園修了者(義務教育就学年齢に達したため卒園した者)は11,503人で、前年に比べ520人減少した。

就園率(小学校1年生のうち幼稚園を修了した者の割合)は59.8%で、前年より0.3ポイント上昇している。(表14)

$$(\text{就園率}) = \frac{\text{前年度修了者}}{\text{小学校1年生}} \times 100$$

表 1 4 就 園 率

単位 (小学校1年生・前年度修了者:人、就園率:%)

	小学校1年生	前年度修了者	就 園 率
昭和60	24,147	15,054	62.3
平成 2	22,427	13,620	60.7
3	21,806	13,189	60.5
4	21,115	12,850	60.9
5	20,808	12,462	59.9
6	20,258	12,208	60.3
7	20,201	12,023	59.5
8	19,245	11,503	59.8
対前年比較	-956	-520	0.3

(6) 専 修 学 校

学校数は41校で、前年に比べ4校減少した。その内訳は国立が3校、公立が2校、私立が36校となっている。

生徒数は、4,902人(男1,587人、女3,315人)で、前年に比べ125人減少した。

課程別にみると、専門課程が3,455人で70.5%と最も多く、ついで高等課程の1,383人で28.2%、一般課程の64人で1.3%などとなっている。

教員数は、本務者が358人で前年に比べて6人減少し、兼務者が1,143人で32人増加した。(表15、表16)

表 1 5 専 修 学 校 の 学 校 数 、 生 徒 数 、 教 員 数

単位 (生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和60	34	4	2	28	3,642	593	3,049	276	907
平成 2	41	4	2	35	6,138	2,455	3,683	366	991
3	42	3	2	37	5,624	2,389	3,235	408	952
4	42	3	1	38	5,684	2,514	3,170	412	1,045
5	42	3	1	38	5,435	2,231	3,204	388	977
6	44	3	2	39	5,202	1,903	3,299	377	1,054
7	45	3	2	40	5,027	1,687	3,340	364	1,111
8	41	3	2	36	4,902	1,587	3,315	358	1,143
対前年比較	-4	0	0	-4	-125	-100	-25	-6	32

(注) 1. 専修学校制度は、昭和51年から。

表 1 6 専修学校の課程別生徒数

単位：人

	総 数			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数	4,902	1,587	3,315	305	6	299	212	12	200	4,385	1,569	2,816
高 等 課 程	1,383	959	424	—	—	—	—	—	—	1,383	959	424
専 門 課 程	3,455	623	2,832	305	6	299	212	12	200	2,938	605	2,333
一 般 課 程	64	5	59	—	—	—	—	—	—	64	5	59

(7) 各種学校

学校数は140校で、前年に比べ1校減少した。

生徒数は8,279人(男3,218人、女5,061人)で、前年に比べ386人減少した。生徒数の男女の比率は男子38.9%、女子61.1%である。

教員数は、前年に比べ本務者が431人で15人減少し、兼務者が360人で8人減少した。(表17)

表 1 7 各種学校の学校数、生徒数、教員数 単位(生徒数・教員数：人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和60	169	—	4	165	12,155	4,205	7,950	532	449
平成 2	160	—	3	157	10,473	3,744	6,729	498	441
3	157	—	3	154	10,076	3,639	6,437	494	386
4	156	—	3	153	9,842	3,561	6,281	479	419
5	150	—	3	147	9,548	3,586	5,962	469	401
6	148	—	3	145	8,936	3,370	5,566	465	402
7	141	—	3	138	8,665	3,397	5,268	446	368
8	140	—	3	137	8,279	3,218	5,061	431	360
対前年比較	-1	—	0	-1	-386	-179	-207	-15	-8

2 卒業後の状況調査

(1) 中学校

ア 卒業生

平成8年3月の卒業生は23,058人(男11,695人、女11,363人)で、前年に比べ649人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者(就職して進学した者を含む。)は22,540人で全体の97.8%、就職者は310人で1.3%、専修学校等入学者(就職して入学した者を含む。)は78人で0.3%、その他(無業者、死亡、不詳)は130人で0.6%となっている。(表16)

イ 進学者

進学者は22,540人で、前年に比べ585人減少した。進学率をみると97.8%となり、前年より0.3ポイント上昇した。また、高等学校本科通信制課程への進学者(337人)を除く進学率は96.3%であった。(表18)

表 1 8 中 学 校 の 進 路 別 卒 業 者 数

単位(卒業生:人、進学率・就職率・構成比:%)

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校 等 入学者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率		就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)	(A)	(A)から通 信制課程を除 く	
昭和60年	27,231	25,269	714	1,095	153	240	27	92.8	92.5	5.0
平成 2	29,026	27,352 (617)	742	777	155	207	6	94.2	92.1	3.4
3	27,317	26,025 (283)	531	654	107	124	11	95.3	94.2	2.9
4	26,115	25,344 (693)	142	533	96	119	3	97.0	94.4	2.5
5	25,693	24,888 (487)	149	537	119	117	8	96.9	95.0	2.6
6	24,852	24,204 (344)	114	425	109	83	5	97.4	96.0	2.1
7	23,707	23,125 (368)	110	353	119	65	3	97.5	96.0	1.8
8	23,058	22,540 (337)	78	310	130	59	6	97.8	96.3	1.6
構 成 比	100.0	97.8	0.3	1.3	0.6	—	—	—	—	—

(C) + (E) + (F)

(注) 1. 就職率 = $\frac{\text{総 数}}{\text{数}} \times 100$

2. () 内の数字は、高等学校本科通信制課程への進学者で内数である。

ウ 就 職 者 (進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。)

就職者は375人(男247人、女128人)で、前年に比べ46人減少した。就職率は1.6%で、前年に比べ0.2ポイント低下した。(表18)

就職先を産業別にみると、第2次産業が163人で全体の43.5%を占めて最も多く、ついで第3次産業が103人で27.5%、第1次産業が76人で20.3%、その他が33人で8.8%となっている。(表19)

また、就職先を県内と県外に分けてみると、県内への就職者は334人で89.1%を占めており、前年に比べると0.9ポイント低下した。(表20)

表 1 9 中学校の産業別就職者数

単位 (就職者:人、構成比:%)

	総 数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	そ の 他
昭和60	1,362	28	735	550	49
平成 2	990	52	495	411	32
3	789	89	400	285	15
4	655	89	336	213	17
5	662	127	285	232	18
6	513	111	194	195	13
7	421	70	179	141	31
8	375	76	163	103	33
構 成 比	100.0	20.3	43.5	27.5	8.8

表 2 0 中学校の県内県外別就職者数

単位 (就職者:人、構成比:%)

	総 数	県 内	県 外
昭和60	1,362	1,190	172
平成 2	990	862	128
3	789	696	93
4	655	573	82
5	662	597	65
6	513	455	58
7	421	379	42
8	375	334	41
構 成 比	100.0	89.1	10.9

(注) 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも 100.0%にならない。

(2) 高等学校 (通商部を除く)

ア 卒業 者

平成8年3月の卒業者は22,841人(男11,406人、女11,435人)で、前年に比べ 56人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者(就職して進学した者を含む。)は9,804人で42.9%(7年40.8%)、就職者は6,790人で29.7%(7年31.7%)、専修学校等入学者は5,146人で22.5%(7年22.9%)、その他(無業者、死亡、不詳)は1,101人で4.8%(7年4.6%)となっている。(表21)

イ 進 学 者

進学者は9,804人で前年に比べ468人増加した。進学率をみると42.9%となり、前年より2.1ポイント上昇した。進学先別にみると、大学学部が6,681人(男3,864人、女2,817人)、短期大学本科が3,069人(男236人、女2,833人)等となっている。

(表21)

表 2 1 高等学校の進路別卒業 者 数

単位 (卒業者:人、進学率・就職率・構成比:%)

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校 等 入 学 者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率	就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)		
昭和60	18,603	5,633(-)	2,904	9,053	1,013	43	147	30.3	49.7
平成 2	25,149	8,202(3)	4,883	10,514	1,550	30	189	32.6	42.7
3	25,331	8,874(10)	4,610	10,449	1,398	25	176	35.0	42.0
4	25,827	9,423(6)	5,179	10,266	959	44	118	36.5	40.4
5	25,040	9,655(5)	5,181	9,232	972	31	117	38.6	37.5
6	24,016	9,538(2)	5,304	8,231	943	22	104	39.7	34.8
7	22,897	9,336(8)	5,250	7,251	1,060	30	81	40.8	32.2
8	22,841	9,804(11)	5,146	6,790	1,101	10	107	42.9	30.2
構 成 比	100.0	42.9	22.5	29.7	4.8	-	-	-	-

(注) 1. 就職率 = $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総 数}} \times 100$ 2. () 内の数字は、大学・短期大学の通信教育部への進学者で内数である。

3. 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも 100.0%にならない。

ウ 就 職 者 (進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。)

就職者は6,907人(男3,779人、女3,128人)で、前年に比べ455人減少した。就職率は30.2%で、前年より2.0ポイント低下した。(表21)

就職先を産業別にみると、第3次産業が3,374人で48.8%、第2次産業が3,415人で49.4%などであった。(表22)

また、これを職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業者及び労務作業者が3,039人で44.0%を占め、ついで事務従事者が1,134人で16.4%、サービス職業従事者が902人で13.1%などとなっている。

就職先を都道府県別にみると、県内が 5,836人で84.5%となっているが、県外では愛知県 619人(9.0%)、大阪府 180人(2.6%)、東京都51人(0.7%)など 1,071人で15.5%であった。県外への就職者の割合は、前年より 3.0ポイント低下している。(表 2 3)

表 2 2 高等学校の産業別就職者数

単位(就職者:人、構成比:%)

	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他
昭和60	9,243	104	4,775	4,264	100
平成2	10,733	31	5,668	4,945	89
3	10,650	27	5,423	5,041	159
4	10,428	36	5,315	4,976	101
5	9,380	29	4,614	4,649	88
6	8,357	36	3,915	4,275	131
7	7,362	39	3,641	3,615	67
8	6,907	44	3,415	3,374	74
構成比	100.0	0.6	49.4	48.8	1.1

(注) 1. 就職者には、進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含んでいる。
2. 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも 100.0%にならない。

表 2 3 高等学校の県内県外別就職者数

単位(就職者:人、構成比:%)

	総数	県内	県外				
			計	愛知県	大阪府	東京都	その他
昭和60	9,243	6,753	2,490	1,434	449	96	511
平成2	10,733	8,357	2,376	1,506	407	108	355
3	10,650	8,100	2,550	1,613	409	172	356
4	10,428	7,830	2,598	1,546	442	173	437
5	9,380	7,273	2,107	1,330	343	111	323
6	8,357	6,620	1,737	1,043	300	64	330
7	7,362	6,000	1,362	789	217	70	286
8	6,907	5,836	1,071	619	180	51	221
構成比	100.0	84.5	(15.5)	9.0	2.6	0.7	3.2

(注) 就職者には、進学して就職している者、専修学校等に入学して就職している者を含んでいる。

3 不就学学齢児童生徒

(1) 就学免除・猶予者

学齢児童・生徒のうち就学を免除された児童は10人、生徒は5人、また、就学を猶予された児童は6人、生徒は15人である。

(2) 1年以上居所不明者

1年以上居所不明の児童生徒はいない。

(3) 学齢児童生徒死亡者

平成7年度間に死亡した児童は9人、生徒は5人である。